

日本共産党

ひめだ吉太郎

No. 52

'09.5.27

北朝鮮の核実験に抗議する！

5月25日の北朝鮮の核実験について、日本共産党の志位委員長は厳しく抗議する談話を発表。志位委員長は、北朝鮮のロケット発射を非難した国連安理会議長声明が意に沿わないからといって北朝鮮が世界に明らかにしてきた公約（一切の核兵器および現在の核計画を放棄するとしていた）を一方的に破棄することは許されないと指摘し、これ以上の核実験を慎むこと無条件で六カ国協議に復帰することを要求しました。

日本共産党
和歌浦後援会

レーレー会だよくわかった。

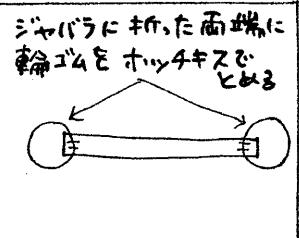
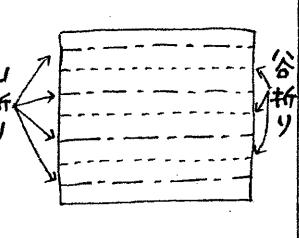
5月23日、日本共産党和歌浦後援会は、23人の方が参加され、県政・市政報告を聞くつどいを開きました。

日本共産党

和歌浦後援会

フリーの人々

(595)



くにしげ秀明さんは、15兆円の補正予算は大企業に大増税を押し付けるものと

5月21日、県議団は知識に対する「新型インフルエンザ対策に関する緊急要望」を行いました。

お隣の大坂、神戸や滋賀で患者が発生し、府県内の学校、保育所が一週間の休みとなり、地域社会に大きな影響を与えた。知事への要望を行ったところは、幸いにも和歌山県内での患者は確認されていませんでした。

が、保健所に設置した発熱相談センターや市内2ヶ所の発熱外来は手い

批判、いま大事なことは国民の生活を豊かにする政治に変えることだとし、雇用とくらし、平和を守る日本共産党を伸ばしてほしいと訴えました。

ふじい健太郎県議員は、新型インフルエンザ問題で県議団が県に申し入れをしましたこと、派遣切りなどで県民のくらしが大変な時に、県が大企業を優遇する一方

こんにちは

ふじい健太郎です。
(その240)

で福祉医療を改悪しようとしたことを許さず、頑張っていることなどを報告しました。

ぱいで、保健所が通常の業務を中止して、発熱外来を開設する状況でした。

また、マスクや手洗い薬を求めてすでに売り切れの状態でもあります。感染を予防し、拡大を最小限にとどめることが求められています。

緊急要望では、相談センターや発熱外来の拡充、医療機関での受診体制確保に向けた支援、感染症病床の確保、保健証のない人の受診と医療費負担の軽減、マスクなどの普及を求めました。



ふじい健太郎
県議員

ひめだ吉太郎さんは、木の「ごみ有料化案」が市議団の奮闘と新婦人の会など市民の反対で撤回させたこと

「みんなにちは
日本共産党です」

いま、ある調査が始まっています。調査主体は内閣府。「定額給付金に関連した消費等に関する調査」です。訪問先の書店主の方が、教えてください。



さいました。調査を委託された会社の調査員が訪ねてきました。うんとタ
「この調査も税金ですかね。給付金自体が景気対策にもならないことは、わかってる」とやのにしと怒って、こうしゃいました。

本の売り上げは、年金の入金月は比較的いいといいります。その翌月はうんとタ



くにしげ'秀明
(衆院1区・比例)

無料なんでも相談はお気軽に。

和歌浦の読者の方から相談があり、訪ねていくと「無料の人でも相談所のビルを見たので」という話。相

「話題も、その場で解決し
喜ばれました。すぐに解決
したこと、が多いのですか」
お気軽にどうぞ。

割され、12枚の玉子せんべい
に焼生付けられていました。
まず、12枚のせんべいを
袋から取り出し條文を並べ
てみましたが、これが結構
むつかしい。ちゃんと並べ
くいい味です。12枚入り/
袋350円。3袋まとめて
買うとノ千円とお買い得に。
購入希望者は、ひめたまで。
代金引き換えでお宅までお
届けします。

は大きな成果だと報告、市議団が「ごみ減量策」を提案していることなどを紹介。参加者からは、ごみ収集や介護について切実な要求がございました。

が出来れ、「い勉強にな
った」「ひめださんを市議
会に送らなあかん」などの
感想が寄せられていました。
(和歌浦・津野 実)

書き込まれ、市長は09年4月実施を撤回し、「み減量化の総合的施策を推進する」と方針転換しました。

日本共産党中央議団は、「うした経緯と県内・県外の先進施策、議員団の提案を「ごみ減量・リサイクルへの提案」として冊子「A4版、12頁、アンケート付キ」にまとめました。

希望者には、お届けしますので、私、ひめだまでご連絡ください。

せんべい食べて9条守ろう！

〈第7回〉 7.9 和歌山大空襲を
語りついで女人へのつぶい

劇団東演公演
ピアノソナタ「月光」による
月光の夏

2009年 7月9日(木) 19時開演
(18時半開場)

市民会館 小ホール

太平洋戦争末期の1945年初夏。
音楽を愛する学徒出身の特攻隊員
2人から佐賀県鳥栖市の小学校に
かけつけ、今生の別れにベートーベン
のピアノソナタ「月光」を弾き、沖縄
の空に出撃していった。戦後45年、
かつて教師をしていた吉岡公弓が、
その思い出を語る。